

四万十市	深木の一部
------	-------

打合せ経費

名称	規格	員数	単価	金額	備考
測量主任技師					着手・中間・最終
測量技師					着手・最終
測量技師補					中間
合計	(人件費)				

打合せ経費計上額 円

測量調査業務旅費交通費内訳書

1. 調査測量業務交通費

名称	数量(日)	単価	金額
技師・技師補の内 の最大値			
合計			

積算内訳

ライトバン損料	運転時間当り	193円 × 1時間 =	円
ライトバン損料	供用日当り		円
燃料代(ガソリン)		142円 × 2.7ℓ =	円
		合計	円

※ライトバン運転 1.0時間当りガソリン数量 2.7ℓ (高知県土木工事標準積算基準)

交通費計上額 円

2. 調査測量業務日当等

四万十市職員の旅費に関する条例に準じ計上しない。

作業区分の変化率の算定【深木の一部】

実施面積	: 0.57 km ²				※表〇-〇は地籍調査事業費積算基準書より
一筆平均面積	: 509 m ²	(調査前)			
	: 795 m ²	(調査後)			
縮尺	: 1/1000	視通条件	: 農Ⅱ		
精度	: 乙1	筆の形状	: 不整形		
傾斜条件	: 緩傾斜	計画区からの距離	: 5.0 km		

変化率の算定

C工程 = (αC × YC) × 実施面積

αC = 1.15 表1-13

YC = 1.05 表1-23

= (1.15 × 1.05) × 0.57

= **0.69**

FⅠ工程 = (αFⅠ × βFⅠ × γFⅠ × σFⅠ × εFⅠ) × 実施面積

αFⅠ = 1.15 表1-13

βFⅠ = 1.25 表1-18

γFⅠ = 1.37 表1-19

σFⅠ = 1.00 表1-21

εFⅠ = 1.00 表1-22

= (1.15 × 1.25 × 1.37 × 1.00 × 1.00) × 0.57

= **1.12**

FⅡ-1工程 = (αFⅡ-1 × βFⅡ-1 × γFⅡ-1 × σFⅡ-1 × εFⅡ-1) × 実施面積

αFⅡ-1 = 1.15 表1-13

βFⅡ-1 = 1.32 表1-18

γFⅡ-1 = 1.63 表1-20

σFⅡ-1 = 1.00 表1-21

εFⅡ-1 = 1.00 表1-22

= (1.15 × 1.32 × 1.63 × 1.00 × 1.00) × 0.57

= **1.41**

E工程 = (αE × γE × σE) × 実施面積

αE = 1.15 表1-13

γE = 1.37 表1-20

σE = 1.00 表1-21

距離係数 = 0.00 表1-17

= (1.15 × 1.37 × 1.00) × 0.57

= **0.90**

E工程 = 標準本数 × γFⅡ-1 × σFⅡ-1 × 実施面積

(筆界点等本数) 標準本数 = 2,880 表1-7 (筆界杭:単価 304 円)①

γFⅡ-1 = 1.63 表1-20 (アルミナンバープレート+止釘 45 円)②

σFⅡ-1 = 1.00 表1-21

筆界杭 = 2,880 × 1.63 × 1.00 × 0.57 = 2675.81 ≒ 2,676 本③

アルミナンバープレート+止釘 = ③ = 2,676 枚④

所要材料費 = ③ × ① + ④ × ② = 円⑤

雑品費 = × 0.5 % = 円⑥

杭代 = ⑤ + ⑥ = **円**